

ジープ・トレイルホーク コンセプトカー

クライスラー グループが提案するタフで象徴的なジープブランドの新しい形

ジープ・トレイルホーク コンセプトカーは、ボディ オン フレーム 4 ドアの新型ジープ・ラングラー アンリミテッドの核となるオフロード機能に、開放感あるオープンエアとオンロードでの洗練された走りを融合したジープブランドのユニークで新しい形のコンセプトカーです。新型ラングラーのプラットフォームから作られたジープ・トレイルホークは、ジープの伝統的なオフロード性能を犠牲にすることなく、より洗練された ハイウェイクルーザーに仕上がっています。

主任エクステリア デザイナーのニック・ヴァーディスは「トレイルホークの外観上のキーポイントは 116 インチ(約 2,946 mm)というロング ホイールベースが与えられた個性的なサイドビューです。ダッシュボードからフロントアクスルまでの距離は極端に長く、今にも前に走り出すような印象を与えるとともに、フロントとリアのオーバーハングは切り詰められています」と述べています。

ヴァーディスによると、ボディサイドは逞しくワイドで、まるで熟達した射手が弓を引いているような形状をしています。さらにピラーも後退しており、今にも前に進み出しそうな印象は、引き上げられたベルトラインによってさらに強調されています。

ワイドで、車両の四隅に押しやられたホイール及びタイヤは、ボディから大きく張り出したフェンダーフレア内に収まっています。一部が台形で非対称のエッジの効いたシルエットを持つフェンダーはジープの基本的なデザインの特徴を再解釈するものです。

「このフェンダーフレアは引き伸ばされ、片側はきつく張られています。それぞれがボディの中心に向かって『長い側面』を演出しているのです」とヴァーディスは述べています。

さらにボディはフロントに向かって絞られており、フェンダーをさらに露出させてワイドなプロポーションを強調しています。直径 34 インチという非常に大きなフェンダー内には 22 インチ 5 本スポーク ホイールが収まっています。特別に作られたタイヤはレッドのストライプでアクセントが付けられ、露出しているブレーキキャリパーも同じくレッドです。

ドア底部に沿って後方に跳ねるボディ下部は、フェンダーと交差してビビッドなラインを演出しています。この水平ラインの下に収まっているのは埋め込み式ランニングボードで、シルバーモールディングのアクセントが付けられています。フロントフェンダーとフロントドアの切れ目にある縦長のエアインテークには、丸型の Trail Rated バッジが付いています。

トレードマークとなっている 7 本スロットグリルが与えられたトレイルホークの長いボンネットは、後方に傾斜したフロントフェンダーに合わせて後方に角度が付いた形状となっています。スロットグリルはメッシュ仕上げです。グリルとフェンダーの間にある角が落とされたヘッドライトは、後方に傾くような形状となってい

ます。クリアな平面レンズの中には、ツイン「テレスコピック」ポリッシュ仕上げアルミニウム バレルに収まっている 4 灯式 HID プロジェクター ヘッドライトが前方を照射するとともに、平行に配置されたストライプ状の LED がパーク／ターン シグナルの働きをします。

ヴァーデイスは次のように述べています。「メイン ヘッドライト ユニットは上部を斜めに切り落とした形をしており、角度のついたアイ ラインから前方を見つめ、大胆で怖い印象を与えています。フロントビューでは、左右のヘッドライトが鳥のような鋭い目を彷彿とさせます。」

「他のコンセプトカーのように、まず私たちはグリルとヘッドライトを数学的な面からコンピュータで一緒に解析してみました。すると私たちはすぐに鷹のような顔つきに気づき、そのため『トレイルホーク』と名づけたのです。」

テールランプはストライプ状のターンシグナルも含めてヘッドライトの外観に似ており、カーブ状のリフトゲートと融合しています。

クルマの上部構造はボディ下部に載せられ、室内空間は歯切れ良く角が落とされた 360 度のモールディングで囲まれ、高いアーチ状のベルトラインでアクセントが付けられています。フロントウィンドウのベースには 7 本のスロットが付いたカウルスクリーンがあり、フロントグリルと同じデザインになっています。ボディ カラーは高光沢のアージェントパールで、フェンダーやボディ下部は光沢がわずかに低い濃色となっています。

サイドウィンドウは完全にボディに格納され、B ピラーやクォーターウィンドウも完全に格納することができます。1 列目と 2 列目のシートの上にある縦長のグレーのティンテッド ツイン ガラスパネルとカーゴエリアのガラスパネルは取り外し可能で、スイングアップ式のバックライトも取り外すことができます。全てのウィンドウを全開にしたり、または取り外したりすると、トレイルホークは典型的なソフトトップのジープとほとんど変わらないオープンエアの雰囲気を楽しむことができます。固定されたセンタースパインにはルームランプやいくつかの収納ボックスが内蔵されています。

「ジープ・トレイルホークのインテリアはオープンエアの自由さを強調し、またそのデザインにはエクステリアの要素が採用されています。エクステリアのディテールを彷彿とさせるタフな機械の要素が洗練された素材や仕上げと対比されることによって、モダンでありながらもタフで、そして機能的なインテリアを作り出すとともに、高級なオフロード エクスペリエンスを演出しています」とインテリアデザイン担当のクリフ・ウィルキンスは述べています。

この 4 人乗りのインテリアは、クロスカー インストルメントパネル(I / P)ビームとフロアコンソールを構成しているセントラルスパインの 2 つの主要なデザイン要素によって構成されています。電源ソケット、セン タースタック コンパス／傾斜計、立体的なダブルデッキ「バイブレーション」ゲージが丸型のケースに組み込まれ、それらのディテールはヘッドライト周りに合わせて、削り出しのアルミ調の外観が与えられています。

ツートーンのレザーで覆われたアルミ ステアリングホイールは、ライトやスピードコントロールのスイッチが縦に並んだ固定丸型ハブを備えています。

トランスミッション トンネルの上にあるコンソールの持ち上がったウォールは長い蓋のない収納部を形成し、さまざまな小物を収納するのに便利です。コンソールのサイドレールには、2 つのフロント／リアのアームレスト兼収納ボックス モジュールが組み込まれており、隠れたレールによって乗員の好みに応じて前後に動かすことができます。ノートパソコンに採用されているタッチパッド テクノロジーを利用したリモートコントロールのフリップアウト パッドをもつ、格納式のフラットスクリーン ナビゲーションユニットがアームレストの前方に組み込まれています。

「オープンコンソールのユニークな実用性はトランスファーケース『テレーン セレクター』スイッチの位置をインストルメントパネル上のセンタースタックに変更したことによって向上しています。また、ステアリングコラムの右側に配置された電子制御式ギア セレクター／パーキングブレーキ レバーも実用性を高めています」とウィルキンスは述べています。

ドロップオープン式のセンタースタック コンソールモジュールの前方とドアトリム パネル下部にも追加で収納スペースが用意されています。

ドライバーと3人の乗員は、パーク ブラックとファイヤーウッド オレンジの高級レザーで仕上げられたシートでリラックスすることができます。フロアは滑り止めパッドが付いた耐久性の高いスプレー仕上げが施され、あらゆる天候において実用的です。

カーゴエリアでは、各クォーターパネルに取り外し可能なポータブル「オーディオポッド」サウンドシステムが組み込まれています。それらの三角形のダーク グレー のケースはおしゃれなシルバーの丸型スピーカーベゼルで飾られ、各「ポッド」には MP3 プレーヤーのドックが用意されています。ファーストエイド キットやロードハザード セットを収納するための見やすいファイヤーウッド オレンジのジェリカン型のスタイルボックスがスピーカー「ポッド」の前方に配置されています。

カーゴ エリアの実用性は内蔵された収納ボックス、4 つのカップホルダー、可動式の仕切りを持ち、後方にせり出して収納したものを楽に取り出すことのできるスライド式の「Load 'n Go」カーゴトレイなどで構成されるドロップダウン式のテールゲートによってさらに向上しています。

ウィルキンスは「インテリアで最も素晴らしいものの 1 つは、それが完全にコンピュータ上でデザインされ、仕上げられていることです。伝統的なスケッチや立体模型を使った工程はありませんでした。それでも、インテリアは私たちがちょうど予想していた通りに出来上がったのです。」と続けます。

2007 年モデル ジープ・トレイルホーク コンセプトカー 参考主要諸元

重量及び寸法

重量:	3,900 ポンド (概算)
全長:	191.2 インチ (4,858 mm)
ホイールベース:	116 インチ (2,946 mm)
フロントオーバーハング:	34.5 インチ (878 mm)
リアオーバーハング:	40.7 インチ (1,033 mm)
全幅: (ボディ幅)	77.7 インチ (1,968 mm)
全高:	69.3 インチ (1,761 mm)
トレッド (フロント/リア):	64.2 インチ / 64.2 インチ
アプローチ/デパーチャーアングル:	27.0 度 / 33.5 度
カッブル:	33 インチ (838 mm)

パワートレイン及びサスペンション

エンジン:	3.0L BLUETEC CRD、215 hp/4,000 rpm、 376 ft.-lb./1,600-2,800 rpm
ドライブトレイン:	4WD、5 速オートマチック
サスペンション フロント:	4 バーリンク付きソリッドアックスル
リア:	5 バーリンク付きソリッドアックスル

ホイール及びタイヤ

タイヤサイズ (フロント/リア):	305/45R22 33 インチ (838 mm)
ホイールサイズ (フロント/リア):	22 x 10 インチ

エクステリア及びインテリアカラー

エクステリア:	アージェント パール ハイグロス ボディカラー、 ライトアージェント ローグロス ホイールフレア ダークアージェント ローグロス アクセント及び スターブライト 3 ハイグロス グライトアクセントカラー
インテリア:	アージェント パール S/F、 ミディアムアージェント ローグロス 及び スターブライト 3 ペイントにファイアーウッドオレンジ、 バークブラックレザー仕上げ

キーパフォーマンส์

0-60 mph:	9.0 秒
スタンディング 1/4 マイル:	15.7 秒
最高速度:	124 mph
レンジ:	300 マイル
車両回転円周:	36 フィート (概算)
クロールレシオ:	29:1 (3.73:1 アックスル)